

再評価審議資料【道路事業（県事業）】（道路建設課）

○再評価対象箇所一覧表 . . . p 1

○再評価対象地区に係る事業制度・費用対効果の分析について . . . p 3

○再評価実施箇所（附図） . . . p 5

○説明資料（パワーポイント）

7 道路改築事業（地域高規格道路補助）

「(一) 扶桑各務原線 新愛岐道路工区」

. . . p 7 ~ 1 5



令和3年度 再評価対象箇所一覧表 10月25日審議箇所

[県土整備部 道路建設課]

番号	事業名	路線・地区 ・河川名等	実施箇所 (市町村名)	採択 年度	完了 予定 年度	事業概要		全体事業費 (百万円) 用地補償費 工事費等	実施済み額 (百万円) 用地補償費 工事費等		進捗率 (%) 用地補償費 工事費等		経過年数 (R4.3現在)	政策との 位置付け	関連事業の 進捗状況	社会経済情勢等 の変化及び 地元の意向	環境との調和へ の配慮事項	事業費縮減	費用対効果 分析	対応方針 (案)	特記事項	
						全体事業量 (km)	実施事業 量 (km)		事業 実施率	用地補償費	工事費等	用地補償費										工事費等
7	道路改良事業	(一)井森各務原線 新愛宕道路	各務原市	H17	R9	1.80	0.38	21%	12,500	5,320	43.0%	17	<ul style="list-style-type: none"> <li>※滞滞緩和による円滑な交通の確保</li> <li>隣接県との観光交流や産業振興の推進</li> <li>※工事時に有効に機能するネットワークの確保</li> </ul>	-	<ul style="list-style-type: none"> <li>当該区間付近に「各務原工業団地」造成の進展</li> <li>事業継続、早期完成を要望</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学識経験者による委員会(一般県道井森各務原線自然環境保全対策検討委員会)の設置</li> </ul>	-	1.7 (1.8)	継続	前回再評価 H28		

費用対効果分析( )は前回再評価時の投資効果率



令和 3 年度 再評価対象地区に係る事業制度・費用対効果の分析について

課名 道路建設課

○事業制度について	事業名	道路改築事業	
	事業目的	地方公共団体等が行う社会資本の整備その他の取組を支援することにより、交通の安全の確保とその円滑化、経済基盤の強化、生活環境の保全、都市環境の改善及び国土の保全と開発並びに住生活の安定の確保及び向上を図ること。	
	採択基準	地域住民の日常生活の安全性若しくは利便性の向上を図るために必要であり、又は快適な生活環境の確保若しくは地域の活力の創造に資すると認められるもの。	
	概要 (メニュー)	現道の拡幅や線形改良またはバイパス等の建設	
○費用対効果の分析について *費用便益 B/C*	効果の項目	うち貨幣換算する項目 ≪B≫	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 走行時間短縮便益</li> <li>・ 走行経費減少便益</li> <li>・ 交通事故減少便益</li> </ul>
		その他項目	
	費用 ≪C≫ の算定	費用の積み上げ基準＝道路整備に要する事業費＋道路維持管理に要する事業費 現在価値算出のための社会的割引率：4％ 基準年次：評価時点 検討年数：50年間	
費用便益比の基準	原則費用便益比 (B/C) 1.0 以上		



# 令和3年度 再評価実施箇所（附図）

担当課〔道路建設課〕

番号	7	事業名 (路線・河川名等)	道路改築事業（地域連携推進事業） 一般県道 扶桑各務原線 新愛岐道路
事業実施箇所	愛知県丹羽郡扶桑町小淵 ～岐阜県各務原市鷺沼大伊木町		事業主体 岐阜県
採択年度	平成17年度	完了予定年度	令和9年度
再評価の実施基準	再評価を実施した後5年間に経過した時点で、継続中の事業（経過措置）		
事業目的	<p>一般県道扶桑各務原線は、愛知県丹羽郡扶桑町を起点とし各務原市に至る路線である。当該事業はこのうち木曾川渡河部の1.8km区間を整備するものであり、渋滞緩和による円滑な交通の確保、隣接県との産業振興の推進、災害時に有効に機能するネットワークの確保を目的としている。</p>		
事業概要	<p>事業延長：1.8km 車道幅員：3.25m×2車線 自転車歩行者道幅員：3.0m（土工部両側、橋梁部片側）</p> <p>主要構造物：新愛岐大橋（仮称）L=0.87km</p>		
概要図			





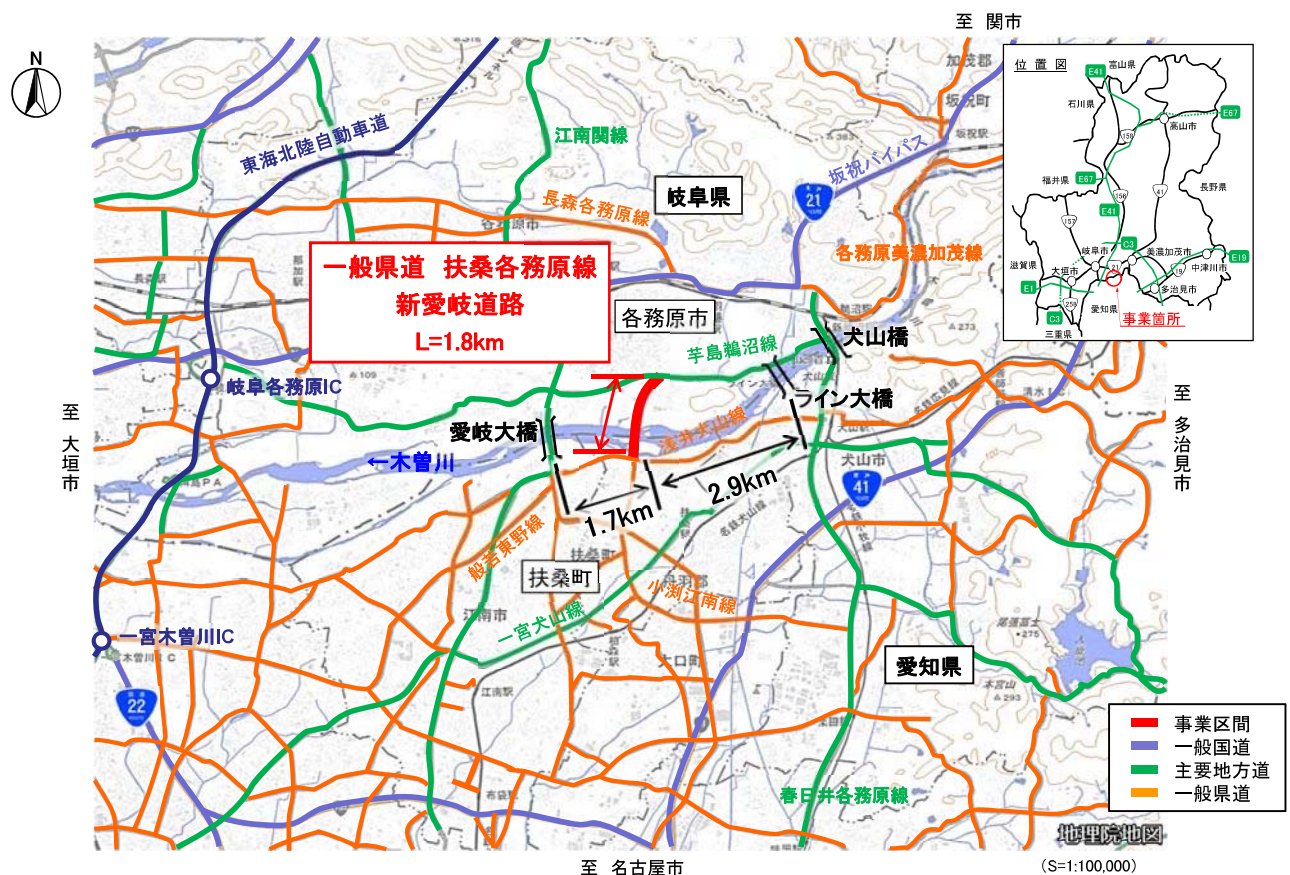
# 事業再評価 道路改築事業

ふそう かかみがはら  
一般県道 扶桑各務原線  
しんあいぎ どうろ  
新愛岐道路

岐阜県 県土整備部 道路建設課  
令和3年10月25日



## 位置図



至 名古屋市

(S=1:100,000)

# 位置図 2

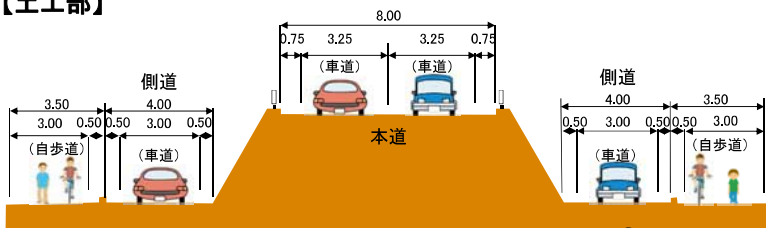


## 事業概要

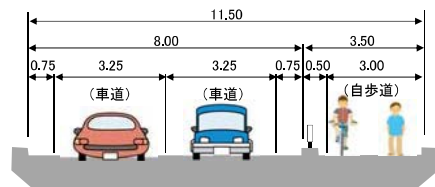
- ◆起 終 点 : 愛知県丹羽郡扶桑町小淵～岐阜県各務原市鶯沼大伊木町
- ◆全体延長 : 1. 8 km
- ◆総事業費 : 約 1 2 5 億円 (岐阜県: 68億円、愛知県: 57億円)
- ◆事業着手 : 平成 1 7 年度
- ◆完 成 : 令和 9 年度
- ◆道路規格 : 第 3 種 第 2 級
- ◆幅 員 : 車道 3. 2 5 m × 2 車線  
 : 自転車歩行者道 土工部 3. 0 m (両側)  
 橋梁部 3. 0 m (片側)

標準横断面図

【土工部】



【橋梁部】

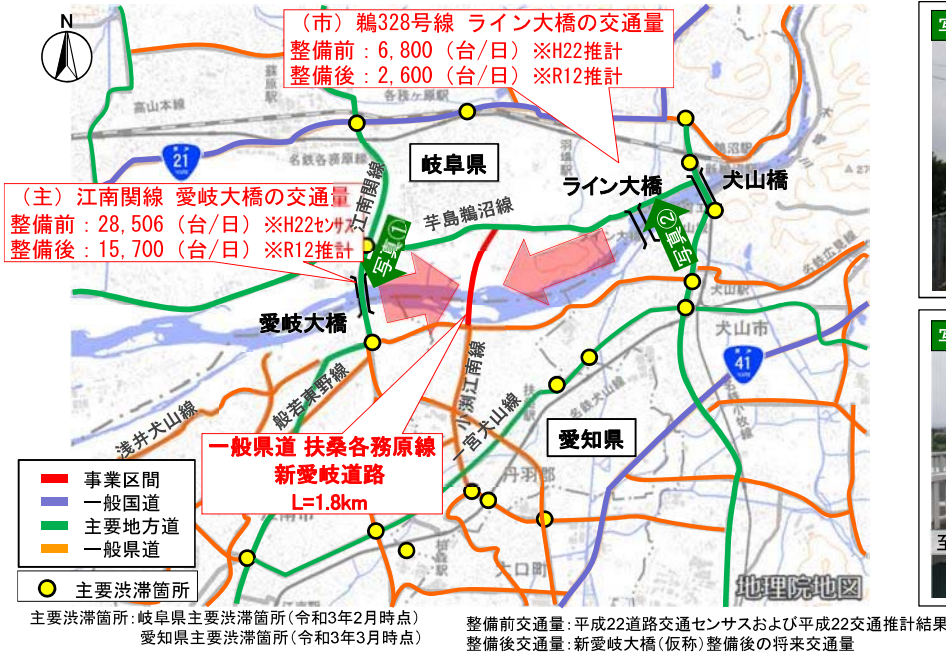




# 事業の目的①

## 活力：渋滞緩和による円滑な交通の確保

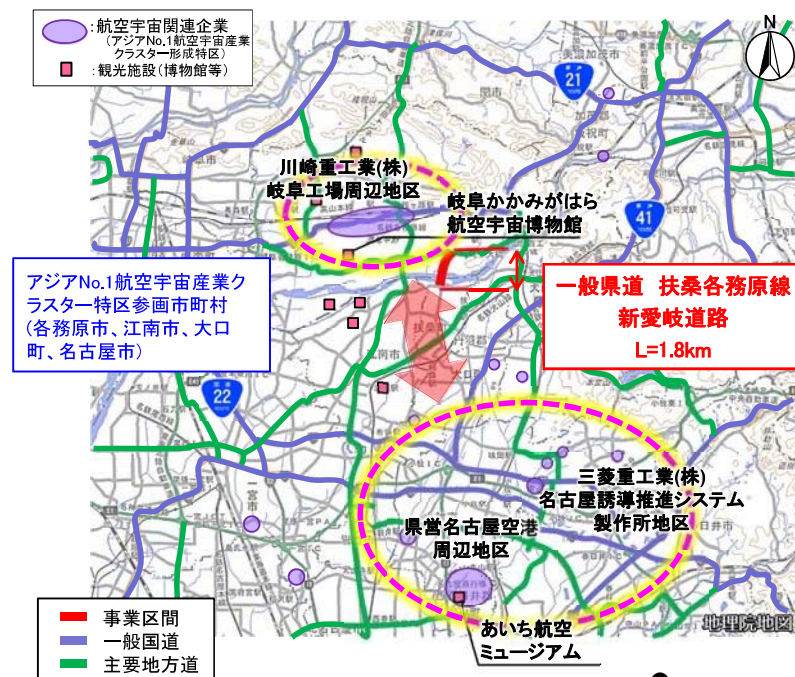
- 愛岐大橋、ライン大橋を中心に主要渋滞箇所が点在し、周辺道路では朝夕ピーク時に慢性的な渋滞が発生
- 当該区間の整備により、木曾川渡河部の交通が転換し、円滑な交通を確保



# 事業の目的②

## 活力：隣接県との観光・産業振興の推進

- 周辺では航空宇宙産業の関連企業や博物館等の観光施設などが立地
- 木曾川渡河部のボトルネックを解消し、産業振興を促進



■岐阜かかみがはら航空宇宙博物館



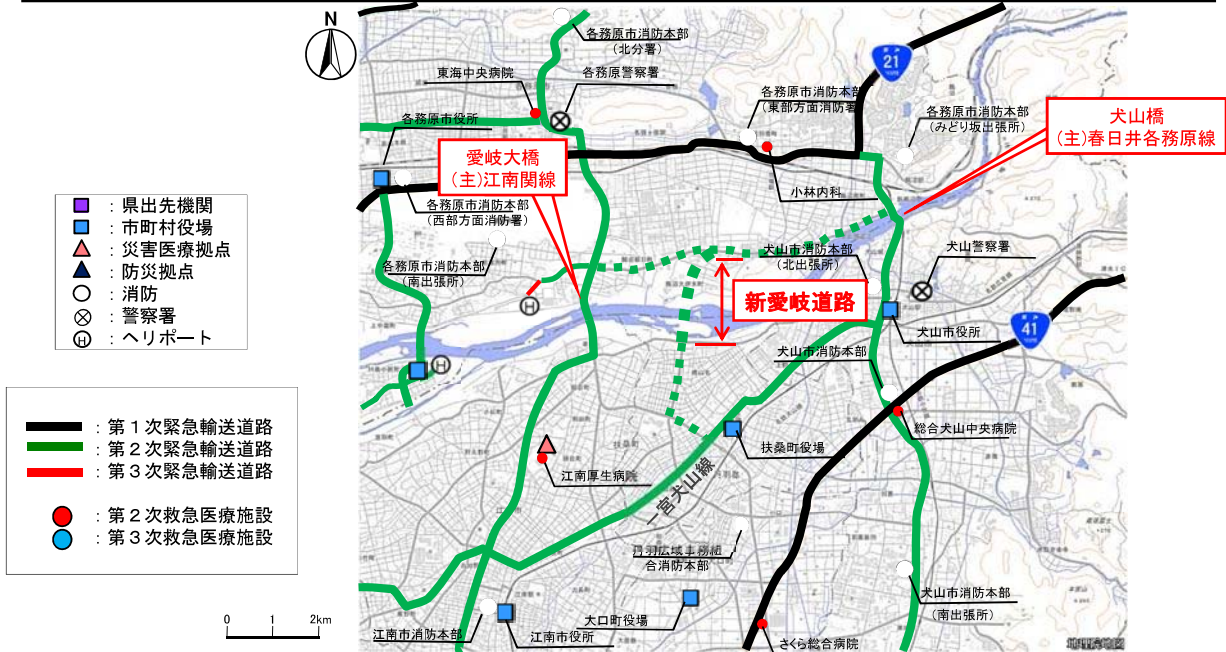
■あいち航空ミュージアム



# 事業の目的③

## 安心・安全：災害時に有効に機能するネットワークの確保

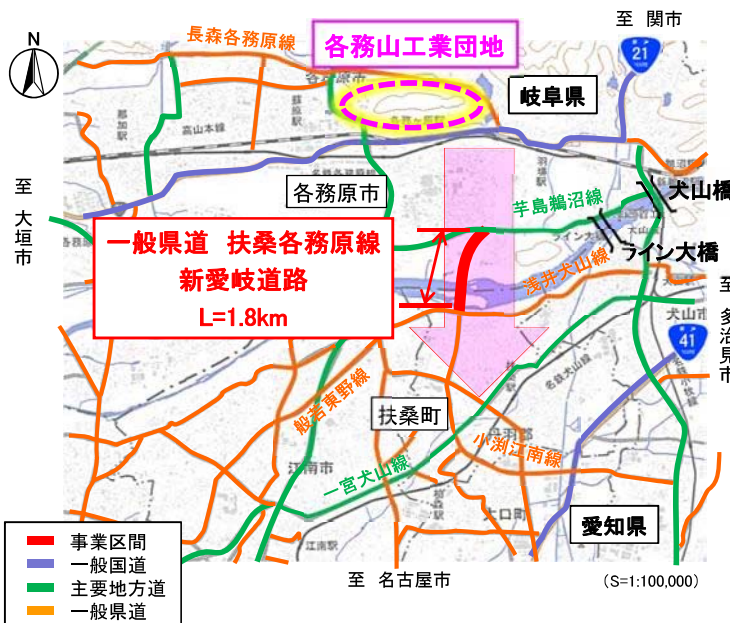
- 当該区間に並行し、上流側に犬山橋（春日井各務原線）、下流側に愛岐大橋（江南関線）が第2次緊急輸送道路に指定されている。
- 新愛岐道路の整備により、災害時の救急活動を支援（第2次緊急輸送道路に追加指定予定）



## 事業を巡る社会経済情勢等の変化

### ◆周辺開発の進展

- 新愛岐道路から北に約3 kmの地点に各務山工業団地を造成中。
- 当該区間の整備により、岐阜県と愛知県間のアクセスが向上し、物流強化や人流強化が期待。





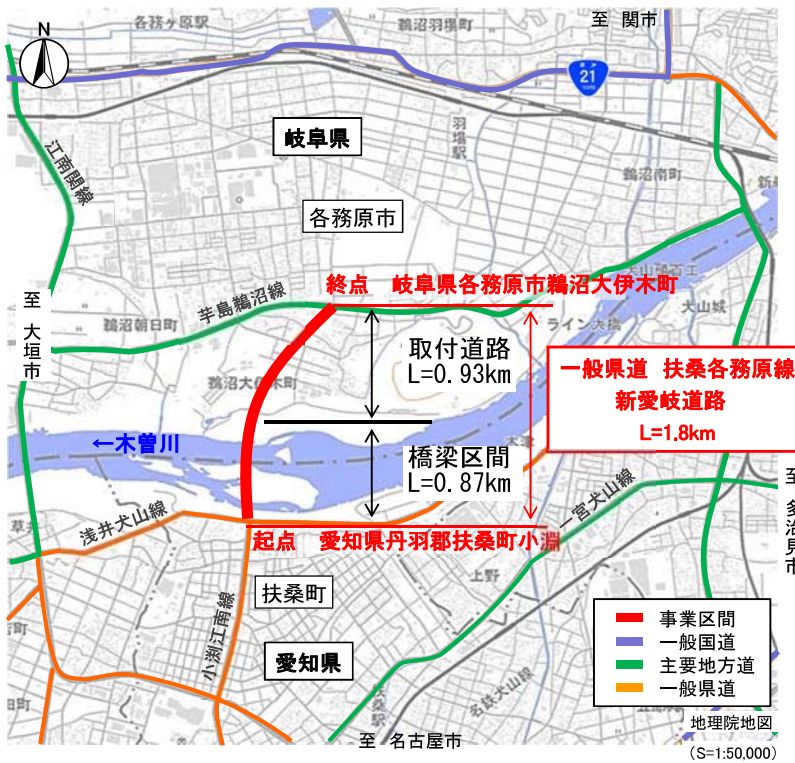
# 事業の進捗状況

全体進捗率 43%

用地補償進捗率99%

工事等進捗率33%

※ 令和3年度末事業費ベース



8

## 事業の施工状況(橋梁区間)

下部工施工状況



下部工はP11～P14橋脚及びA2橋台を施工済み

9

## 事業の施工状況(取付区間)

### 岐阜県側施工状況



撮影日: 2021.6

### 愛知県側施工状況



撮影日: 2021.6

10

## コスト縮減の取り組み

- 発生土の流用等によるコスト縮減は計画段階から取入れた上で、最適な計画で工事を実施していく。
- 今後も技術革新による新工法、新材料等の情報を積極的に収集し、コスト縮減にむけ継続的に検討していく。



## 自然環境への配慮

### ◆学識経験者による委員会の設置

- 新愛岐大橋架橋予定の木曾川に、オオサンショウウオ（環境省絶滅危惧Ⅱ類、岐阜県絶滅危惧Ⅱ類、愛知県絶滅危惧ⅠB類）の生息を確認した。
- このため「一般県道扶桑各務原線自然環境保全対策検討委員会」を設置し、河川環境に配慮した計画を立案した。
- 工事の施工に際しては、並行して河川環境調査を行い、フォローアップを行いながら施工を実施している。



自然環境保全対策検討委員会(H22)



オオサンショウウオ



委員との現地調査(H20)

12

## 費用対効果分析

### 事業の効果

- 走行時間短縮便益 …… 効果全体の約 93%
- 走行経費減少便益 …… 効果全体の約 5%
- 交通事故減少便益 …… 効果全体の約 2%

### 投資的効果率

$$\frac{\text{総便益 (B)}}{\text{総費用 (C)}} = 1.7 \quad \left[ \begin{array}{l} \text{前回再評価時} \\ \text{(H28年度)} \\ 1.8 \end{array} \right]$$

※費用便益分析マニュアル(H30.2 国土交通省)に基づき算出

## 今後の方針(案)

○新愛岐道路の完成は、円滑な交通の支援、産業振興の推進、災害時に有効に機能するネットワークの確保に大きく寄与する。

○地元住民および関係市町から事業の継続、早期完成の強い要望がある。



**＝供用に向け、事業継続＝**



**令和3年度第4回  
岐阜県事業評価監視委員会  
費用対効果分析資料**

**■事業名**

【道路改築事業】「一般県道 扶桑各務原線 新愛岐道路」

**■事業内容**

延長L=1.8km、幅員3.25×2車線

**■費用対効果分析結果**

区分		前回 (基準年：H28)	今回 (基準年：R3)	備考
事業期間		H12～H39	H12～R9	
費用 (億円)	事業費	103.1	125.5	
	維持管理費	2.8	3.5	
	合計(C)	105.9	129.0	
効果 (億円)	走行時間短縮便益	170.7	204.2	
	走行経費減少便益	15.3	11.3	
	交通事故減少便益	1.9	3.3	
	合計(B)	187.9	218.8	
	費用対効果分析結果(B/C)	1.8	1.7	

※金額は、社会的割引率（4%）を用いて現在の価値に換算したものの。

**■費用対効果分析の分析方法**

・費用便益分析マニュアル／国土交通省 道路局 都市局/H30.2

**■費用対効果分析結果の要因変化**

**【費用】**  
 ・費用を現在価値化する際の基準年を平成28年から令和3年に変更したことによる事業費の増加

**【便益】**  
 ・平成30年2月に新たな将来OD表が国土交通省より配布され、計画交通量が増加したことによる走行時間短縮便益の増加  
 ・平成30年2月に費用便益分析マニュアルが改訂され、時間価値原単位、走行経費原単位、交通事故損失額算定式が見直されたことによる増減。